



友好交流を結ぶ海外の都市

深めよう交流のきずな

出雲市が友好交流を結ぶ都市は、海外の4都市、国内では3つの市と1つの町があります。合併前から続く、交流のきずなを再確認するため、新出雲市として改めて協定を結びました。今号では、海外の交流都市についてお知らせします。

市では、今後もそれぞれの都市との理解を深め、市民レベルの交流も広げていきたいと考えています。

姉妹都市 サンタクララ市（アメリカ合衆国） 〔人口〕約10万人

カリフォルニア州サンフランシスコ市の南75kmにあり、シリコンバレーの中心地として、コンピュータ関連の工場・研究所が建ち並んでいます。

昭和61年、旧出雲市が出雲市制施行45周年を記念して姉妹縁組を結びました。現在、中学生の親善訪問事業や高校生のホームステイをはじめとする青少年交流事業を実施しています。



7月1日 出雲市役所
盟約書を披露するサンタクララ市ドミニク・カセルタ議員（右）

友好都市 漢中市（中華人民共和国） 〔人口〕約370万人

中国のほぼ中心にあたる漢中市は、約3000種の野生植物と280種の野生動物が生息する野生動植物の宝庫です。国際保護鳥トキの保護・繁殖地として世界中に知られるほか、ジャイアントパンダ、金糸猿などの希少な野生動物が生息しています。

平成3年に旧出雲市と友好協定を締結し、技術研修生の受け入れ、スポーツや写真・書画などの相互交流など幅広い交流が行われています。



協定締結後、西尾市長と握手を交わす漢中市の張榮珠副市長（右）
7月1日 出雲市役所

文化観光友好都市 エビアン市（フランス共和国） 〔人口〕約8,000人

“エビアンの名水”で世界的に有名なエビアン市は、レマン湖の南岸に位置し、スイスのジュネーブから車で約1時間。ヨーロッパ有数の高級保養地です。音楽祭、スポーツ大会、国際会議など、年中多彩な行事が開催され、世界中から訪れる人が絶えません。

「美しい水と美しい自然」という共通点が縁となり、平成11年から、旧出雲市が芸術文化団体を派遣し、代表団の相互訪問、高校生のホームステイによる相互訪問などを重ね、平成14年に文化観光友好都市協定を締結しました。



7月1日 出雲市役所
協定書を交わすエビアン市長（右）

友好姉妹都市 カラヨキ市（フィンランド共和国） 〔人口〕約9,200人

フィンランド西部、バルト海沿岸にあるカラヨキ市は、ボスニア湾に流れるカラヨキ川に沿って農地や住宅が広がっています。全長8kmにわたる砂浜にも恵まれ、多くの観光客でにぎわいます。

共に美しい海と砂浜を舞台にまちづくりを進めるカラヨキ市と旧多伎町は、平成15年に友好姉妹都市協定を結び、国際交流員の招致や中学生の相互派遣事業、小・中学生の絵画展などの交流事業を行っています。



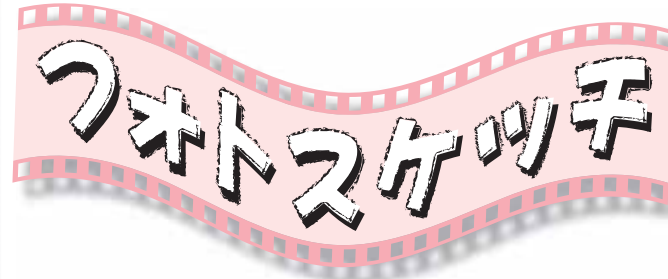
7月4日 出雲市役所
西尾市長と記念品を交換するカラヨキ市のライリ・ムツルスカリ市長（右）

新「出雲市」発足記念式典



▲神話のふるさと出雲が、未来に向けて新たな創世神話の礎になってほしいとの願いを込めて作詞、作曲された出雲讃歌「天地のるつぼ」の合唱。出雲市合唱連盟に加盟する合唱団の80人により、歌い上げられました

▶ジャズトランペッター熱田修二さんによる演奏「いい日旅立ち」とともに、出雲が誇る四季折々の豊かな自然や、いにしえからの文化が宿る新市の町並みをスクリーンで紹介しました

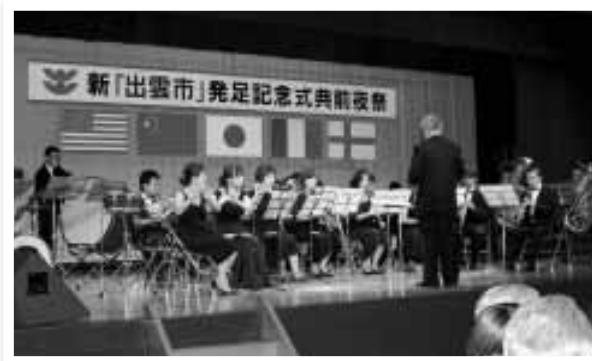


式典

新「出雲市」発足記念式典前夜祭 （7月1日 ラビタウエディングバレス）



▲さだ須佐太鼓の皆さんによる迫力あふれる演奏



▲出雲吹奏楽団が楽しい演奏を披露

縁結び祭（7月2日 出雲市駅北周辺）



▲出雲大社神代神楽伊野社中の勇壮な舞



▲元気いっぱいハマナス保育園の園児によるハマナス太鼓「湖陵音頭」